# 平成25年度の事業報告書

## 特定非営利活動法人こえとことばとこころの部屋

## 第十一期事業報告書

Ⅰ　事業期間
　平成25年6月1日～平成26年5月31日

Ⅱ　事業の成果

　第十一期の当法人の活動は、地域の中で広がりながら深化したといえるだろう。西成区のあいりん地域に暮らす単身高齢生活保護受給者（65歳以上）の社会的つながり事業「ひと花プロジェクト」に、地域を拠点に活動するNPO法人の連合体の一員として参加し、表現プログラムの企画・運営を行った。事業の拠点として花園１丁目に「ひと花センター」が開設された。地域の中で孤立しがちな単身高齢者を対象にした事業だが、元気な高齢者が地域のために活動するためのプラットフォームとなる可能性をもつ事業であり、活動を通して居場所として定着し、友人や生き甲斐がもたらされ、地域を横や斜めにつなぎはじめている。当法人がこれまで多様な人が出会う場づくりを、表現を通じて実践してきた経験が、毎月10種類以上の表現プログラムとして結実している。また、後半からは就業支援の実習も始まり、当法人でもうけ入れを開始した。

また、地域の施設に協力してもらいながら実施してきた「まちでつながる」事業や「釜ヶ崎芸術大学（以下、釜芸)」は今年度も継続して開催し、「釜芸」は２期になって講座数、授業数ともに増えて充実した開催となった。大阪市立大学や大阪大学との連携もはじまった。阪大と連携して行なった「狂言」の講座は、能舞台での公演「釜ヶ崎狂言会」として発表し好評を博した。
なお「釜ヶ崎芸術大学」は、国際的な現代芸術展覧会である「ヨコハマトリエンナーレ2014」への招聘が決定している。

2011年度から研究者とともに取り組んできた「釜ヶ崎における死の研究」は、2013年３月に大阪大学CSCDから「孤独に応答する孤独」という報告書を発行した。８月には研究報告としてシンポジウム「孤独に応答する孤独」を開催。支援ハウス路木の管理業務や、またココルームを訪れる人との関係のなかで、孤独死や葬送の問題などに直面してきた。そういった現場での経験と研究者からの視点の微妙な乖離に対して、共有できることばにすることの難しさもに挑戦する取組みであった。そして、この研究グループで「依存学」の助成金申請を行って採択が決定した。次年度は「依存」をテーマとして現場と研究者との共同研究を続ける。

９月には、台湾のキュレーターからココルームとして「逆棲」展覧会への招聘を受け、１ヶ月間の鳳甲美術館での展覧会に参加した。アートの文脈において社会的な問題意識を持ち、地域に根ざした活動を行う香港と台湾の団体も参加した美術展だった。スタッフとその家族、退職したスタッフなどと台湾での展示作業やワークショップ、トークイベントに参加した。

事務局では2007年から断続的に「大阪でアーツカウンシルをつくる会」に取り組んできたが、六月には大阪府市文化振興会議の「大阪アーツカウンシル」部会が設立された。会は、アーツカウンシルがつくられたことから「大阪でアーツカウンシルを考える会」に名称変更し、芸術や文化政策について市民とともに対話する場、勉強する場を継続してつくっている。
組織内においては、昨年度もスタッフの入れ替わりがあり、新しいスタッフが加わった。組織内での情報の共有は未だに課題であるが、MLなどでこまめな報告・連絡をするようにし、また相談事についても気持ちを溜め込まず、風通しよく思っていることを伝えられる環境づくりを心がけたい。

寄付についても順調に伸びており、さまざまな媒体による周知やスタッフによる地道な声かけが功を奏してい

る。次年度ははじめてクラウドファンディングに挑戦する。事務局一同無駄な出費は控え、整理整頓、物品はていねいに扱い、積極的に寄付をよびかけ、自主事業にも力をいれていきたい。

第十一期においても、十周年記念本の制作を継続しておこなったが発行にいたらなかったことは反省点である。編集社に企画として通ったので、制作を鋭意進めており、次期に発刊する予定である。

第十二期は、ヨコハマトリエンナーレ2014への「釜ヶ崎芸術大学」の参加や、大阪市立大学との協働事業「釜ヶ崎オ！ペラ」など、法人として新しい試みが続く。この地域が大きく変わりゆく時期に、地域の人とともにつくりあげる表現の発表の機会を得られたことは意義のあることと思う。忙しい時期を迎えるが、スタッフは心身共に健康につとめ、また日々の業務にもていねいに取り組む余裕を持ち、当法人のミッションを深めてゆきたい。

Ⅲ　事業の実施状況

１．特定非営利活動に係る事業

（１）鑑賞及び発表機会提供事業

［事業名］　鑑賞及び発表機会提供事業
［内　容］　「手紙を書く会」「釜ヶ崎句会」「手芸部」ほか
［実施場所］　インフォショップ・カフェ　ココルーム、カマン！メディアセンター
［実施日時］　随時実施
［事業の対象者］　一般市民
［収　入］　¥　0
［支　出］　¥　0

（２）交流スペース及び市民相談窓口管理事業

［事業名］　交流スペース及び市民相談窓口管理事業
［内　容］　交流スペース「インフォショップ・カフェ ココルーム」「カマン！メディアセンター」の管理運営を行い、市民に開かれた文化活動の場を提供することに務め、アートによるつながりづくりを実施した
［実施場所］　インフォショップ・カフェ　ココルーム、カマン！メディアセンター
［実施日時］　10時から19時(不定休)
［事業の対象者］　一般市民
［収　入］　¥36,295（事業収入¥36,295）
［支　出］　¥1,653,153（人件費¥750,000、外注費 ¥20,000、消耗品¥207,713、水光熱費¥130,364、通信費¥15,065、家賃¥515,665、交通費¥2,200、修繕費¥5,728 、雑費¥1,416）

（３）交流スペース及び市民相談窓口管理事業

［事業名］　カフェ事業
［内　容］　交流スペース「インフォショップ・カフェ　ココルーム」で、市民に開かれた文化と表現活動の場を提供することに務め、アートによるつながりづくりを実施した
［実施場所］　インフォショップ・カフェ　ココルーム
［実施日時］　毎日10時から19時
［事業の対象者］　一般市民(不定休)
［収　入］　¥　2,556,645（事業収入¥2,556,645）
［支　出］　¥　2,342,071（人件費¥840,000、仕入れ ¥805,112、消耗品¥134,922、水光熱費¥276,285、交通費¥3,885、管理費¥281,867 ）

（４）調査・研究とその発表の為の放送・出版・ウェブ制作及び流通事業

［事業名］　ココルーム本棚事業
［内　容］　フリーペーパーの発行。自由に閲覧できる本棚。

［実施場所］　　インフォショップ・カフェ　ココルーム、カマン！メディアセンター
［事業の対象者］　一般市民
［収　入］　　￥　0
［支　出］　　￥　14,600（印刷代¥14,600）

（５）人と街と文化に焦点を置いた地域活性化事業
［事業名］　まちでつながる事業
［内　容］　地域のなかに、縁側のような空間をつくり、専門家と市民がであい、交流できる場をつくる。「健康」「こころ」「生活」の３つの柱で考える。
［実施場所］　　大阪市内
［実施日時］　　2013年6月～2014年3月
［事業の対象者］　一般市民
［収　入］　　￥　1,500,000（助成金¥1,500,000）
［支　出］　　￥　2,140,970（謝金¥585,000、人件費¥1,105,000、交通費¥94,640、制作印刷費¥282,210、郵送代¥40,004、消耗品¥11,107、会議費¥10,289、雑費¥12,720）

（６）包摂型就労支援事業
［事業名］　うけいれ事業
［内　容］　社会体験、就労体験のうけいれ
［実施場所］　インフォショップ・カフェ　ココルーム、カマン！メディアセンター、支援ハウス路木など
［実施日時］　　随時
［事業の対象者］　一般市民
［収　入］　　￥　55,000（事業収入¥55,000）
［支　出］　　￥　0

（７）アーツマネジメント普及の為のコンサルティング事業
［事業名］　「孤独に応答する孤独」シンポジウム
［内　容］　釜ヶ崎における死の研究報告書「孤独に応答する孤独」発行記念シンポジウム
［実施日時］　　８月
［事業の対象者］　地域の人々、日本全国からの来訪者など
［収　入］　　￥　300,000（助成金¥300,000）
［支　出］　　￥　319,400（謝金¥90,000、交通費¥42,000、宿泊費¥6,600、広報費¥50,800、消耗品費¥10,000、人件費¥120,000）

（8）アーツマネジメント普及の為のコンサルティング事業
［事業名］　釜ヶ崎芸術大学事業
［内　容］　釜ヶ崎地域を大学にみたて、さまざまな講座を開催。誰もが学び合える場と機会を創出する。
［実施場所］西成市民館、希望の家、インフォショップ・カフェ　ココルームなど
［実施日時］4月～3月
［事業の対象者］一般市民
［収　入］　　￥　1,660,000（助成金¥1,660,000）
［支　出］　　￥　2,111,499(謝金¥554,400、会場費¥113,050、印刷費¥723,170、参考図書費¥17,643、　通信費¥73,236、人件費¥630,000）

（８）アーツマネジメント普及の為のコンサルティング事業
［事業名］　台湾：鳳甲美術館プロジェクト
［内　容］　台湾：鳳甲美術館でココルームの活動を展示（９月から10月が展覧会）
［実施日時］　　9月～10月

［事業の対象者］　アジアの人々、鳳甲美術館来訪者など
［収　入］　¥　222,148（事業収入¥222,148）
［支　出］　¥　322,442（旅費¥282,442、通信費¥30,000、雑費¥10,000）

［特記事項］

尚、上記の非営利事業にかかる財源として、

1- 助成金等収入　¥　5,989,150
2- 寄付金等収入　¥　4,491,272
3- 事業受託収入　¥　0
4- 会費　¥　16,000
5- カフェ事業収入　¥　2,556,645

などを充当することで、管理を含め、事業展開を行った。

## Ⅳ　社員総会の開催状況

理事会その他の役員会の開催状況

理事会その他の役員会の開催状況

第10回定時理事会

［日　時］　2013年7月24日　13時から14時
［場　所］　大阪市西成区山王1-15-11 インフォショップ・カフェ　ココルーム
［理事総数］　8名
［出席者数］　5名（内委任状参加者3名）
［内　容］　第１号議案　平成 25 年度(第 10 期)事業報告及び決算の件
第２号議案　平成 25 年度(第 10 期)事業計画の件
第３号議案　当法人の今後の展開について
すべて審議の結果、満場異議なく承認可決。

第10回定時総会

［日　時］　2013年7月24日　14時から15時
［場　所］　大阪市西成区山王1-15-11 インフォショップ・カフェ　ココルーム
［社員総数］　22名
［出席者数］　18名（内委任状参加者9名）
［内　容］　第１号議案　平成 25 年度(第 10 期)事業報告及び決算の件
第２号議案　平成 25 年度(第 10 期)事業計画の件
第３号議案　当法人の今後の展開について
すべて審議の結果、満場異議なく承認可決。